

経験から学ぶ、たくましさを育てる

２学期が始まり、早いもので１か月が過ぎようとしています。子どもたちは学校生活のリズムを取り戻し、毎日の学習や活動にも落ち着いて意欲的に取り組んでいます。

さて、１学期に発生した震度４の地震では、近隣の学校で防火扉が作動した事例がありました。本校では作動しませんでしたが、これを貴重な教訓とし、先日の避難訓練では「もし地震で防火扉が閉まったら」を想定し、実際にくぐって避難する訓練を行いました。

また、この間の大雨で、体育館へ向かう通路の脇から土砂が水とともに流れ出しました。草木が用水路のパイプをふさぎ、水があふれたことが原因でした。すぐに草木を取り除き、土が流れないよう砂利を入れる対策を進めています。これらに共通するのは、「困難や想定外の出来事から学び、乗り越えることで、真の力（対応する力）が身につく」ということです。

これは、子どもたちの日常でも同じです。雨が降ってきたら「傘や長靴が必要」とか、「傘の開き方・たたみ方を覚える」、「雨の日の服装や濡れにくい歩き方を考える」、「この程度の雨なら帽子で大丈夫と自分で判断し行動する」等々です。雨の日のエピソードにかぎりませんが、子どもたちには、様々な場面でこういった経験・判断が必要となってきます。大人が先回りして全てを用意してしまっては、これからの社会を生き抜く力は育ちません。

本校の学校教育目標は「豊かな心をもち、たくましく生きる」です。この「たくましさ」をどのように育てるか、ぜひご家庭でも一緒にお考えいただきたいと思います。もちろん、大前提として、子どもたちの安全・安心が一番です。そのことも踏まえ、学校でも、子どもたちが自ら困難を乗り越える機会を温かく支えながら、教育活動を行ってまいります。





PTA愛校作業へのご協力ありがとうございました

９月５日土曜日の早朝に、ＰＴＡ愛校作業を実施いたしました。お忙しい中、多数の保護者の皆様をはじめ、高学年（５・６年生）の児童や教職員が一丸となって作業に励みました。

日頃の手入れでは手が届きにくい高所の扇風機掃除をはじめ、側溝の重い蓋を上げての泥あげ、斜面の草刈りなど、労力のいる作業を保護者の皆様の見事なチームワークで手際よく進めていただきました。また、子どもたちも自分たちの通学路清掃を中心に汗を流し、学校の環境が見違えるほどきれいになりました。

美しく安全に整えられた環境の中で、子どもたちは気持ちを新たに２学期の学びや運動に打ち込むことができております。早朝よりご尽力いただきました皆様の温かいご協力に、心より感謝申し上げます。





たてわり班でつなぐ「あいさつ運動」

現在、本校では「たてわり班」によるあいさつ運動に取り組んでいます。異学年が一緒に廊下に立ち、明るい声を響かせる姿は、朝の校内をとても清々しい空気にしてくれています。

あいさつは「あなたを大切に思っています」という気持ちを伝える一番身近な言葉です。あいさつを交わすことで心が開き、お互いに安心感や親しみが生まれ、あいさつが増えるほど、学校は優しく温かい場所になります。私は「３つのあ」の一つである「あいさつ」があふれる学校にしたいと考えています。

ご家庭や地域でも、子どもたちの声に笑顔で応えていただければ幸いです。みんなで温かいあいさつの輪を広げていきましょう。



学校 HP の QR

学校広場のページも見てください！